

Tokyo働き方改革宣言



東京都知事 小池百合子 書

従業員一人一人の業務量と労働時間が、個々の能力に基づく適正な配分となるように心掛け、恒常的に、休みやすく時間外労働が少ない職場を目指します。

令和3年4月14日

社会保険労務士法人アイデアコンサルティング

目標

働き方の改善

時間外労働一人あたり月平均7時間以内を目指します。年間の最繁忙期を迎える前に個人の経験値に応じた担当業務の再配分を行うと共に、繁忙期外の時期の業務内容を共有し適正な配分を心がけます。

休み方の改善

年次有給休暇取得率80%を目指します。従業員が目標を超えて年次有給休暇を取得できるよう、管理者が業務量並びに年次有給休暇の取得率を把握し、取得し易い風土づくりを目指します。

取組内容

働き方の改善

- ・管理職が各人ごとに定期的な面談等を通じて業務の見える化を行いながら、従業員ごとに適正な業務量となるよう配分を行います。
- ・従業員個々の、また従業員同士の横の連携を効率よく図れるようにするためのツールを作成、運用して行きながら時間外労働の発生を抑えるようにします。

休み方の改善

- ・全社的に、連続休暇の取得を推奨し、年に1回は取得できるよう働きかけて行きます。
- ・管理者が従業員の年次有給休暇の取得状況を把握しながら、定期的な面談等の機会を利用して、取得予定の確認ならびに取得の促進を図るようにしていきます。